

# 横浜市都市計画マスタープラン とは

「青葉区まちづくり指針」改定に向けての説明会

平成26年10月5日

都市整備局地域まちづくり課

## ■都市計画とは

まちづくりが目指すべきまちの在り方を具体化するために土地利用を規制・誘導することや、道路や公園などの基盤施設としてまちづくりに必要な事項を定めることにより、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るもの。

つまり...?

自分たちのまちを  
より良いもの（暮らしやすいまち）  
にするためのしくみ

## ■ 都市計画マスタープランとは

都市計画の方針を示すものであるが、都市計画に関連する産業や福祉、環境、コミュニティ、防災などの分野についての計画を踏まえ、市民生活全般を視野に入れて作成する。

自分たちのまちをより良いもの  
(暮らしやすいまち) にするために、  
まちの将来像を示し、  
実現に向けて何をするのか  
をまとめたもの

## ■横浜市都市計画マスタープランの役割

1. **都市づくりの基本理念や都市づくりの目標等を定めることにより、都市計画を定める際の指針とします**
2. **土地利用や都市施設整備など都市計画に関する方針や情報をまとめ、市民にお知らせします**
3. **都市づくりの目標等を市民と共有することにより、まちづくりに多様な主体が参画する機会を促します**

# ■横浜市都市計画マスタープランの構成

## 横浜市都市計画 マスタープラン

### 全体構想

前提

### 地域別構想

#### 区プラン

#### 地区プラン

### 全体構想

横浜市の市域全体について、都市計画の基本的な方向を示す

### 地域別構想

#### 区プラン

市民に近い行政単位である区の将来像等を示すとともに、市民との協働でまちづくりを進めていくうえでの基本的方針を示す

#### 地区プラン

具体的なまちづくりを進めるに当たり、より詳細な都市計画の方針を示す必要がある地区について、地区の実状に応じて定める

## ■ 全体構想の改定

策定から10年以上が経過し、社会経済状況が変化したため、平成25年3月に改定

### 【都市づくりの目標】（一部抜粋）

- 超高齢社会や将来の人口減少社会に対応できる「集約型都市構造」への転換と、人にやさしい「鉄道駅を中心としたコンパクトな市街地」の形成
- 地球温暖化やヒートアイランド現象の緩和に向けた、エネルギー効率のよい低炭素型の都市づくり
- 震災や風水害などの自然災害に強い、安全安心のまちづくり

## ■ 区プラン改定の方向性

平成30年度までに18の区プランを改定することを目標に、各区の実状に応じて順次改定に着手します。

### 区プラン改定の基本的な考え方

- 全体構想をふまえ、区の将来像やまちづくりの方針、区ごとの土地利用の方針等について必要な事項を記載する
- 現行区プランの個性を基本的に尊重しつつ、横浜市都市計画マスタープランとしての一体性や分かりやすさを向上するために、構成や記載方法等について一定の統一を図る

---

おわり